

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

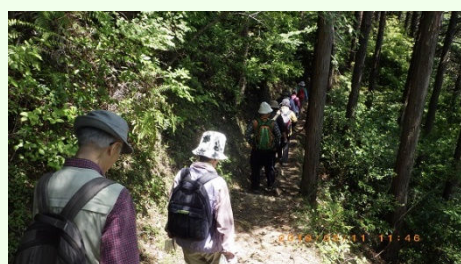
|      |                       |              |    |
|------|-----------------------|--------------|----|
| 活動分野 | 地域部会「南総部会」            |              |    |
| タイトル | 新緑の森をゆっくり歩こう          |              |    |
| 実施日時 | 2019年5月11日(土) 10時~14時 |              |    |
| 実施場所 | 君津市 清和県民の森            |              |    |
| 受講者  | 9名                    | F I C会員他スタッフ | 6名 |

### 活動の内容

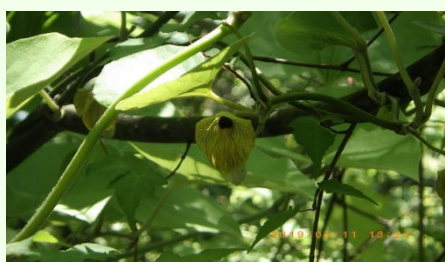
清和県民の森の「癒し体験」のイベントで、セラピーコースをゆっくり歩いて新緑の森を楽しむものである。

初めに「癒し」とはストレスを解消しようとする行動であり、清和県民の森ではいろいろな体験ができることを簡単に説明。

早速、新緑のまばゆい中さわやかな風に吹かれてセラピーコースを歩き始める。最初は登り道、ゆっくりウラジロやコシダ、ネジキやアセビ、また立ち止まりサカキやヒサカキなどの違いを観察しながら行く。スギが並木状に植えられまた山の神やお地蔵さまがまつられて、昔からこの山道は利用されていた名残であり、皆で手を合わせて自然の中で生きてきた古の人たちへの思いとコースの安全を祈った。



展望台では「ヤホー」と全員で大声をそろえて出すと、「ヤホー」とこだまがあり皆感激！下りは足元に注意しながら、スギとヒノキの木肌を覚えながら、



また、新元号の「令和」の「令」がつく樹木リョウブ「令法」に特に関心をもって観察していた。ほかの樹木の花は、ミズキ、マルバウツギ、ウツギなどが満開であった。

ロッジ村でゆっくり昼食後、大滝の滝見台で溪流のせせらぎや野鳥の声などを聞き、和みの森では前もって敷いていたブルーシートに寝転び、空や雲やヒノキの木立を見て、風を感じた。

林道脇にはオオバウマノスズクサの花が満開でありこの不思議な花を観察していた。。木のふるさと館に帰れば、おいしい「甘酒の出迎え」あり何よりの癒しであった。

アンケートでは全員、たっぷりと癒しをいただき十分満足していると答えていました。 以上